

## 議 事 日 程 第 1 4 号

平成 2 9 年 9 月 1 3 日 (水) 午前 1 0 時開議

## 第 1 一 般 質 問

## 一 般 質 問 ( 9 月 1 3 日 )

## 1 川口(広)議員 (自民党)

市長の3期目の市政運営、旧上瀬谷通信施設への国際園芸博覧会の招致、ハマ弁の普及、新生児聴覚検査、瀬谷駅周辺のまちづくり、住宅宿泊事業法への対応、水道料金体系のあり方検討、6次産業化の推進、インバウンド対応による商店街振興、焼却工場の整備、無電柱化の推進、横浜環状道路の整備、コンソーシアムを生かした団地再生の取り組み、第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定、ICT等の先端技術を活用した市職員の働き方改革、広告付案内サイン・公衆無線LAN整備事業、委託契約制度、みなとみらい本町小学校における土壌汚染対応、フィルムコミッション事業の推進、新市庁舎の低層部における商業施設

## 2 有村議員 (民進党)

3期目の市政運営、安全・防災・減災、狭隘道路の拡幅の推進、ヒアリの対応、小学校入学後の放課後対策の拡充、小児医療費助成の拡充、ハマ弁の進化、児童・生徒に対するSNSを活用した相談窓口の強化、英語教育におけるラウンド制の展開、指定管理施設における雇用の安定確保、障害者の法定雇用率引き上げ、統合型リゾート(IR)、公共空間の新たな活用、戦後建築物の歴史的建造物としての保全活用、産・学・民との共創、ビッグデータの活用、ごみ収集車の経費削減、横浜駅西口周辺と鶴見川の水辺空間の活用、市営バスの新規ルートの開設

## 3 安西議員 (公明党)

3期目の市政運営、ハマ弁、小児医療費助成の拡充、就学援助制度、スクールサポートスタッフの増員、奨学金制度、市内中小企業の若手人材確保、子育て世代包括支援センターにおける母子保健コーディネーターの配置、特別養護老人ホーム整備、市職員としての障害者雇用、発達障害児支援の充実と効果的な仕組みづくり、災害時重要拠点周辺の防災・減災対策の推進、九州北部豪雨などの豪雨被害を踏まえた河川護岸の保全対策、大規模施設の閉鎖等に伴う防犯灯の設置、空き家や老朽化マンションへの対応、高齢者の見守り機能、駐輪場の附置義務制度、入札・契約制度、国際平和と持続可能な開発目標SDGsの推進

## 4 古谷議員 (共産党)

市長の3期目の市政運営、ハマ弁と中学校給食実施、特別養護老人ホームの倍増設置、小児医療費無料化拡充、教育施策の改善、教科書採択の実施方法の改善、横浜環状北線馬場出入口における地盤沈下の住民被害

## 5 高橋(徳)議員 (自民党)

中小企業における連携促進と女性活躍支援、利便性が実感できるマイナンバーカードの利活用、市民・事業者提案の一層の実現に向けた公民連携による支援、学校司書の配置と学校図書館の充実、郊外部・上郷町猿田地区のこれからのまちづくり、北朝鮮情勢を受けての本市の危機管理対応、障害のある人が安心して暮らせる住まい

6 山田(桂)議員 (維ヨコ) <12分>

市内のテロ対策、保育園での国旗・国歌、昆虫食、新たな財源確保策

7 大桑議員 (無保会) <10分>

新市庁舎整備、小児医療費助成制度、ハマ弁、大船駅北第二地区市街地再開発、本郷台駅前の旧国有地の活用

8 太田議員 (太田) <5分>

市長の政治手法、カジノ、Jアラート

9 井上議員 (井上さ) <8分>

カジノ・I R、中学校給食・ハマ弁、教科書採択、横浜環状北線周辺の地盤沈下被害

10 宮崎議員 (無所属) <4分>

防災備蓄計画、横浜市の中学校昼食

< >は質問申告時間